

令和元年度 「社会福祉法人 星のくま」 事業報告書

【ワークセンターあいの 就労継続支援B型事業】 *10月社会福祉法人へ移行
元年度 延利用者数 3,140人（通年 5,895人） 30年度延利用者数 4,929人
営業日数 150日（通年 302日）

<事業の成果>

- ・平均工賃 20,500円達成 前年度比110%UP
- ・実施作業活動班 収支を全活動班黒字化
- ・11月より雲仙市内の事業所へ週3回以上の施設外実習を実施できた

<事業の課題>

- ・令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症のため箱班の受注がほぼできていない
- ・利用者数が定員を超過したため、定員を8月に20名へ、3月に25名へ変更した

【ワークセンターあいの 就労移行支援事業】 *10月社会福祉法人へ移行
元年度 延利用者数 307人（通年 686人） 30年度延利用者数 999人
営業日数 124日（通年 276日）

- ・令和2年1月、島原市内の病院へ1名の一般就職を果たすことができた
- ・令和2年2月、協議を重ねた結果、就労移行支援事業を廃止した

【星のホームあいの 共同生活援助事業・短期入所事業（併設型）】 *10月社会福祉法人へ移行
（GH）元年度 延利用者数 1,468人（通年 3,024人） 30年度延利用者数 2,869人
営業日数 183日（通年 366日）
（短期）元年度 延利用者数 15人（通年 87人 ※10～12月は休止） 30年度延利用者数 531人
営業日数 91日（通年 274日）

<事業の成果>

- ・共同生活援助（GH）定員9名、短期入所定員1名
- ・社会福祉法人移行に伴い名称を変更した（星のくま1号館 → 星のホームあいの）
- ・課題であったスタッフ不足が解消できた

<事業の課題>

- ・GHにおいて、10月末に入居者1名が退居となる。空き状況と入居希望者とのタイミングが合わず

現在も1室空床となっている（その間の管理費等に課題が残る）

- ・1月にインフルエンザが流行し、共同生活における医療体制の難しさを感じた

【ケアステーションあいの 生活介護事業】 *1月社会福祉法人へ移行
元年度 延利用者数 2,053人（通年 8,371人） 30年度延利用者数 8,290人
営業日数 75日（通年 305日）

<事業の成果>

- ・高等部卒業生を中心に7名の新規利用者と契約を行った
- ・利用者数が定員を超過したため、令和2年4月より定員を28名に変更した(元年度平均利用27.4人)

・元年度実績により、人員配置体制加算を2:1から1.7:1へ、送迎加算においては重度加算が算定で

きるようになった(令和2年5月より)

- ・新しい作業種目として、食器洗浄を開始し、そのための設備を導入した
- ・職員の専門性を高めるための資格取得に向けては、7割以上の職員が介護福祉士等の有資格者となった

<事業の課題>

- ・定員増に伴い活動場所の確保が必要となった(令和2年度増築工事予定)
- ・作業活動への取り組み方、利用者工賃の見直しや店舗運営については引き続き課題が残った

【ケアステーションあいの 短期入所(単独型)】 *1月社会福祉法人へ移行

元年度 延利用者数 575人(通年2,319人) 30年度延利用者数 2,338人
 営業日数 88日(通年 357日)

<事業の成果>

- ・6床の短期入所をフルに活用し、利用を希望される方の要望や緊急時の支援に対応した
- ・効率化のために調理業務の一部を就労継続支援B型事業へ委託し、更に豊かな食生活のためにGHと連携

して手作りのメニューを取り入れて提供した

- ・日課の見直し(7時起床)により、職員の勤務形態と必要な支援の見直しを行った
- ・雲仙市地域拠点整備事業の検討チームとして協力を開始した

<事業の課題>

- ・宿直業務を検証し、そのための夜間支援員の確保が必要である(週2回程度)
- ・多機能事業所として、生活支援が有効に業務にあたるよう体制の見直しが必要である

【放課後等デイサービス】

①キッズステーションあいの(定員10名) *1月社会福祉法人へ移行

元年度 延利用者数 776人(通年3,466人) 30年度延利用者数 3,176人
 営業日数 75日(通年 305日)

②アクティビティセンターあいの(定員10名) *10月社会福祉法人へ移行

元年度 延利用者数 1,309人(通年2,799人) 30年度延利用者数 2,561人
 営業日数 153日(通年 305日)

<事業の成果>

- ・放課後等デイサービスを2か所で実施するようになって2年を経過した。それぞれの役割が明確になり

特性を生かした支援ができた

- ・2名の児童がキッズステーションからアクティビティセンターへステップアップできた
- ・保育士の確保ができた（現在8名）

<事業の課題>

- ・アクティビティセンターへステップアップするための評価基準(成長度)を明確にする必要がある
- ・更なる専門性を高めるための研修受講を積極的に取り入れる

【市町村事業】

<相談支援事業（者・児）>

- ・社会福祉法人移行に伴い名称を変更した（相談支援事業所 星のくま → ステラ）
- ・3月現在の登録数（者） 43名（内、雲仙市29名）
（児） 45名（ ” 43名）

<日中一時支援事業>

- ・「ケアステーションあいの」にて実施

契約市町村：雲仙市	元年度 延利用者数 5人（通年 18人）
諫早市	元年度 延利用者数 8人（通年 69人）
南島原市	元年度 延利用者数 3人（通年 12人）
時津町	元年度 延利用者数 1人（通年 1人）